

春日町図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和4年11月4日(金) 14時～15時半
- 2 場所 春日町図書館 2階 会議室
- 3 参加者 利用者 13名
図書館 3名
(春日町図書館長、館長代理1名、書記1名)
- 4 テーマ 「これからの春日町図書館を考える」
- 5 配付資料 (1) 教育要覧(図書館の所蔵資料数、利用状況)
(2) 主な春日町図書館事業 3年度下半期～4年度上半期
(3) 図書館ビジョン概要
(4) これからの図書館構想概要
(5) 春日町通信(11月号)
(6) feel me(9月号)
(7) コロナ連絡カード
(8) 利用者懇談会アンケート
(9) 春日町図書館オリジナルしおり
- 6 次第 (1) 春日町図書館長挨拶
(2) 図書館職員紹介
(3) 図書館概要説明
(4) 懇談
(5) 春日町図書館長挨拶

春日町図書館利用者懇談会 会議録

1 春日町図書館長挨拶

私から、一言ご挨拶をさせていただきます。春日町図書館の館長を務めております。日頃より地域の皆様、利用者の皆様には春日町図書館の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今回懇談会のテーマを「これからの春日町図書館を考える」に設定させていただきました。新型コロナウイルスが発生してから、3年ほど経ち感染症対策を講じた新しい生活様式への移行も進み、それに伴い地域のイベントなども開催されるようになってきました。図書館としても新しい様式を取り入れつつ、より地域に根差した図書館をめざし、精進していきたいと思っております。この度、春日町図書館と関わりの深い方にお集まりいただきましたので、これから当館に望むことなど、様々なご意見を頂ければと思います。

なお、今回の懇談会ですが、お時間を15時半までとさせていただきます。また、館独自

では回答が難しい区立図書館全体に関することについては、光が丘図書館にその内容を伝え、後日、光が丘図書館と調整の上ホームページで回答させていただく予定です。また、宜しければ11月19日（土）に行われます、光が丘図書館での懇談会にご参加のうえ、質問をしていただければ、適宜回答があると思います。それではどうぞよろしくお願いいたします。

2 図書館職員紹介

春日町図書館長、館長代理、書記

3 事業紹介等

- (1) 教育要覧抜粋の図書館の所蔵資料数、利用状況の紹介
所蔵資料数、利用状況等
個人貸出点数 45万5624点、個人貸出予約点数 14万2780点
対面朗読の利用時間数 250時間 会議室の利用件数 250件
ギャラリー利用日数 25日
- (2) 3年度下半期から4年度上半期の主な春日町図書館事業について
 - ・夜間開館を活かした事業
 - ・地域、関連施設との連携事業
 - ・練馬区との連携事業
 - ・各種講座、読書支援事業
 - ・ハンディキャップサービス事業
 - ・ボランティアとの連携事業
 - ・その他子供向け青少年向け事業
 - ・情報発信
 - ・学校支援事業
- (3) 図書館ビジョン、これからの図書館構想について

4 懇談会

図書館 今回の懇談会は資料を参考に進めていきたいと思います。

A3サイズのカラーの資料をご覧ください。1枚目が現在の練馬区全館の指針となっている「練馬区図書館ビジョン」です。2013年に策定され、概ね10年の図書館サービスについて示したものです。2枚目の資料が、今までのビジョンを継承・発展させた「これからの図書館構想」です。今後の図書館はこれまで行ってきた図書館ビジョンに基づく取り組みを充実させながら、構想に掲げるコンセプトに基づく取り組みを進めることで、構想の理念にありますとおり「世界につながる彩り豊かな知の情報拠点」として、新たな図書館像の実現を目指します。

つきましては、皆様のお立場から図書館に取り組んで欲しいこと、一緒にやってみたいことなど、ご意見やアイデアなどをいただければと思います。

例えば、「会話などを楽しめる時間帯（おしゃべりタイム）やスペースの提供」という取組例があります。

先日More Timeねりまさんの利用者の方が、図書館がシーンとしていると来るハードルが高いので、おしゃべりできる時間帯があればもっと来やすいのに、と仰っていましたね。春日町図書館はワンフロアなので、会話可能なスペースとして一角を区切るのには難しいのですが、例えば会議室で時間と日時を決めて実施できるかなとか考えました。

その他利用者の方から何かご意見はございましたか。

利用者 More Timeねりまは、知的障害のある人たちの社会に出た後の学びの場所です。

先日、地域の中にどんなことがあったら皆さんと一緒に過ごせる時間が増えるだろうと、利用者さんと話し合いをしました。その中で、図書館に声を出してもいい部屋があるといいねという意見が出ました。この本ってこんな楽しいこと書いてあるよとか、一緒に感覚を楽しめる時間帯とかお部屋があったらいいなど。

私自身子供を育てている時にすごく気をつけて図書館に来た記憶があって、本をゆっくり選ぶということもできませんでした。そういうことも考えると、ちょっと声を出しても大丈夫なんだと思えることは、知的障害のある方だけではなく他の方にとってもいいのではないかと思いました。

利用者 図書館に行きたいと思った時、カードの有効期限が2年間しかもたなかったり、休館日だったり、思うように利用できませんでした。もうちょっと休館日を変えたり、返しやすいうようにしてほしいです。

あと、私、目が悪いんですけど、目が悪い人向けの本を置いていただければもっと来やすくなると思います。

利用者 資料「主な春日町図書館事業 3年度下半期～4年度上半期（抜粋）」の、見やすくするために青で印字しているところも、彼女にとっては見づらいようです。

利用者 今声について話が出ましたけれども、若いお母さんたちからも、昔あったように公園でおはなし会をすとか、図書館バスが来てくれるといいなという声が出ていました。外だったら子供達が気を遣わずに動いたり声を出したりできるので、親子で遠慮なく楽しめるのかなあとすごく思いました。

利用者 他の図書館は子供コーナーだけ独立してあって、お話ししたり子供が走ったりしても大丈夫。春日町図書館を利用する親御さんたちがもうちょっとのびのび図書館に来る気持ちになれるよう、改装の時に、児童書コーナーを区切ってもらえたらいいなと前から思っています。

それと、赤ちゃんが生まれたことで、初めて図書館に来たというお父さんお母さんが結構いらっしゃいます。地域の子育て支援施設の情報を、もう少しわかりやす

く置いてほしいです。

また、同じぐらいの月齢のお子さんを持ったお父さんお母さんが集まれるサロンみたいなものを時々開いたりすると、図書館がもっと身近に感じられるようになるのかなと思います。

利用者 先日グループワークの一環でここに来たんですけど、何人かで来た場合に、この資料でことが足りるのかって話すのが館内だと難しくて。そういう相談をすること自体も非常に大きな経験になると思いますので、どこか一か所だけでも少し話ができるようなエリアがあるとすごくいいなと私は思っていました。

利用者 私も子供がいるんですけど、声を出す前にサッと帰るみたいなのは確かにやっておりました。例えば会議室が空いている時にちょっと解放していただく、ただ、たまり場になると困るので、ある程度ルールを設けてやるっていうのがいいのかなと思いました。

あとはこのコンセプトの、参加の場という部分に関しては、これまでたくさん作っていただいたかなと。地域の方が、ある程度テーマを決めた特集ブースを自分たちで作れたら楽しいのかな等も話していたところです。

図書館 ありがとうございます。図書館は本を整理・収集・保管して利用者に提供するのが大きな役割ですが、交流の場という役割も求められてきているなとすごく感じました。

今日は春日町町会の方にも来ていただいています。春日町町会組織部さん、文化部さんは練馬区協働推進課の方と一緒に、春日町をよくしていこう、最終的に町全部をみんなで盛り上げていこうという計画がありまして、図書館としてもぜひご協力したいという思いでおります。この前も町会さんから子どもホットスポットのステッカーをいただいて、掲示しております。

子育て支援にも課題は多々ありますが、保育園の先生から現況やお悩みなどお聞かせいただけますか。

利用者 保育園の予算が多くはないので、本の購入は本当に悩みます。図書館さんから、リサイクル資料を持って行っていいよって連絡をもらうと本当にありがたいです。

本当は、子供たちがここにきて自分で本を選ぶ。借りたものを期間中自分で大事に保管し、友達と共有する。公共施設に来た時に、幼児なりに他の人に迷惑をかけずに自分も楽しむ。そういう近場で心わくわくするような経験を、っていうところをすごく大事にしてきたんですけど、コロナがあつて。一クラス20人くらいいるので、ここに来るのも迷惑かなと思って、去年今年利用していないんです。

図書館 図書館の除籍資料も、利用が少ないなど状態はいいけれど除籍するものもあります。保育園さんには紙芝居をお分けしたこともありますね。そういうご要望も言っていたいただければお応えしています。

利用者 ちょっといいですか。多分ご存じない方もいらっしゃると思うので、補足ですが、

団体貸出という制度があって、練馬区は300冊、3か月間借りられるんです。この制度を上手に利用してください。これは団体登録さえすれば借りられる制度なので。更新も1回はできるので、6か月借りられる。学校なんかだと、期ごとにそれぞれの学級文庫として利用もできます。図書館からちゃんと運んでくれるはずなんです。希望する本を集めてもらって持ってきてもらう。図書館はとっても大変なんだけれど、学期ごとにそういうことをやっている学校もあるんですね。ですから、そういうのを上手に利用されると、保育園さんも来なくても利用できるということを、補足させていただきたいと思います。

あと、今すごくお子様の話ばかりが出ているんですけども、地域で今高齢者がどんどん増えているので、これを図書館と結びつける。そういうような方法を一つ考えていただけたらいいなという。

図書館 学校支援サービスの説明をしていただいて申し訳ありません。

配車サービスは主に学校だけになってはいますが、団体として登録するとある程度の期間借りられますので、高齢者施設などにもご利用いただいています。

あと、リサイクル資料は学校にも寄贈しています。ぜひ活用していただける場がありましたらお声がけいただければと思います。

図書館 確かに図書館は高齢の方が多く利用されます。利用者アンケートの割合を見ても、4割くらいは年配の方ですので、そういう方たちへの支援も含めて考えていかなければいけません。

構想のコンセプトに「デジタルを活用し、誰もが情報を得られる」とありますが、これが高齢の方にとってはとてもハードルが高い。そのため、タブレットやスマホの使い方講座を、都と連携して今年の冬に実施する予定です。今後は、子育て支援はもちろん、高齢者の方向けのイベントも実施していくつもりです。

高齢者の方の支援というと、高松園の地域包括支援センターさんには本当にお世話になっております。

利用者 ありがとうございます。

やはり図書館さんって知名度が抜群にいいんですね。今コロナ禍ということもあって、ご高齢の方がより閉じこもりやすい世界になってしまっている。図書館の知名度を活かして、居場所となる役割は非常に大事なところかなと思います。

あと、地域の情報コーナーとかって見ての方多いと思うんですね。話ちょっと飛びますけど世界に繋がる前にはまず地域と繋がっておきたいななんて思うので、その拠点として、まず図書館に行けば正しい情報が常に手に入るということが、これからも大事なところかなと思います。

図書館 フレイル予防として、引きこもりがちになっている方が図書館に行って本を読むことを目標に外に出る、そうすることでどんどん健康になっていく。来ることが目的っていう方もたくさんいらっしゃるような気がしています。

少し話は変わりますが、春日町図書館は来年度エレベーター工事を実施する予定になっています。事前にご質問を頂いていましたので、決まっていることなどをお伝えします。まだ工事の時期ははっきり決まっていますが、この建物自体が26、7年経ってしまっていて、施設設備も色々で見直しが必要になってきています。

利用者 工事中、代わりになるようなエレベーターはないんですね。私自身骨折した時にここの図書館が一番利用しやすかったんです。館内には私以外にも松葉づえの人がいました。それなのにエレベーターがなくなっちゃったら、乳母車の人も車いすの人もすごく大変になると思います。

工事に時間がかかるんだったら、そこがカバーできるようなものは設置できないんですかね。

図書館 工事の時だけ設置というのが結構難しいですね。色々検討はしていますが、車いすを運べるものを取り付けるのが難しい階段でして。

利用者 学校は階段にレール付けて、車いすの子が使えるようにしていますよね。

利用者 家庭用の室内エレベーターはどうですか。仮にどこかにつけられたら、一人だけしか乗れないし狭いけど、使えるんじゃないかなと思うんですけど。どこか穴開けられるところあったら。

図書館 それは見た目は普通のエレベーターですか。

利用者 見た目はね、タンスがそのまま上に上がるみたいな感じ。お金かかるけど、家庭用だから、そんなに高くない。

利用者 でも工事が終わったらそれ壊すんでしょ。

利用者 蔵書運ぶのに後で使うとか。

図書館 その後の使い道を考えないといけませんね。他の図書館でもエレベーター工事を行ないましたが、ここのようにカウンターも含め全て2階というところがないようです。学校でのレールは取り外しできるようなものなんですか。

利用者 一回付けたらずっとついてますね。

図書館 そうなんですね。

利用者 工事期間はどれくらいなんですか。

図書館 長くて2か月と伺っています。廃材置き場、資材置き場もエレベーターの近くに作ります。

利用者 以前は春日町児童館でも本を借りられてたんですが、あそこがなくなった影響で図書館に来る子供は少し増えていますか。

あと、エレベーター周辺が資材置き場になるときに、子供たちが来て危険なことはないんですか。そこに警備員さんつけるとかっていうのは考えてらっしゃいますか。

図書館 春日町児童館がなくなって子供が増えたかというのは、ちょっとわかりませんが、土日やスタンプラリー開催時にたくさんお子さんいらっしゃったので、児童館

に行けなくてこちらに来たという子供たちもいるとは思いますが。

資材置き場はどこにするかもまだはっきり決まっていませんが、下のエレベーターのエントランスの階段下かラウンジのスペースが候補になっています。なるべく利用者さんの動線にかからないよう、危険のないようにしたいと思っています。

利用者　すぐ階段に行けるようにきちっと区切ってくださいね。自転車置き場のドアとかは使えるんですか。

利用者　自転車置き場とラウンジは使えなくなるってことですか。

図書館　ラウンジは使えなくなるかもしれませんが、自転車置き場は使えます。そのあたりも色々と検討中です。

利用者　ラウンジもね、すごく使い勝手がいい。会話もできるし、いい場所だなと思ってるので使えなくなるのはちょっと悲しい。

利用者　学校支援事業についていいですか。現在は管理員の方がいらっしゃるんですが、春日町図書館の学校支援っていうのは昨年度と今年度で違いはあるんでしょうか。

図書館　支援員さんがいた時との違いですか。

以前は春日町図書館の職員を支援員として学校に派遣していたんですね。それが体制が変わって、こちらの人間が学校に常駐することがなくなりました。

その影響で、先生たちが困っていることや求めていることがわからなくなって、コミュニケーションがとりづらくなったかなというのは担当として感じています。図書館のサービスとしては特段変わらぬよう心がけ、団体貸出、年に何回かの出張おはなし会、本の紹介、ブックトークをやっています。

利用者　先生が何を求めているかわかりにくくなったって仰いましたが、それをカバーする手立てってあるんでしょうか。

図書館　やはり先生と話さないといけないので、おはなし会の打合せで行った際に時間を見つけて話すとか、お電話ですとか、あとは1年に1回学校図書館の担当と館長と、各学校の図書担当の先生を集めた会議、小中連絡協議会を行っています。各学校での取り組みや活動報告の場でもあるんですが、管理員体制になって、問題点や良くなった点も伺いたいなと思っています。今年度については年末に開催予定です。

利用者　わかりました。ぜひ、よろしく願いいたします。

図書館　はい。今後ともよろしく願いいたします。

去年リサイクルセンターさんから、ギャラリーを使ったご提案があるとお伺いしましたが、何かお考えがありますでしょうか。

利用者　はい。小さいながらもギャラリーがあるので、例えば環境に関する本の特集コーナーみたいなものを出張していただくこともできるんじゃないかなと考えています。

それから、リサイクルセンターにも環境関連の本が二千冊程度ありまして、貸出しております。ですが、なにぶんにも専門家じゃないものですから、本を処分をするとき、購入する時にどういうところにポイントを置くのかとか、本の置き方とか、できれば図書館さんに色々ご指導いただけるとすごくありがたいかなと考えていた次第です。

図書館 はい。今後とも色々ご協力できたらと思っております。

利用者 色々話を聞かせて頂いて本当に勉強になりました。地域で手を繋がなければ子どもの支援にもなりません。親同士が仲良く手を繋ぐということでお子さんの方にも良い影響がいくんではないのかなという風に、今まで聞かせていただいて感じました。以上でございます。ありがとうございました。

5 春日町図書館長挨拶

本日はお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございました。利用者アンケート並びに、本日頂いたご意見を踏まえ、春日町図書館の運営、サービス向上に努めていきたいと思っておりますので今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。